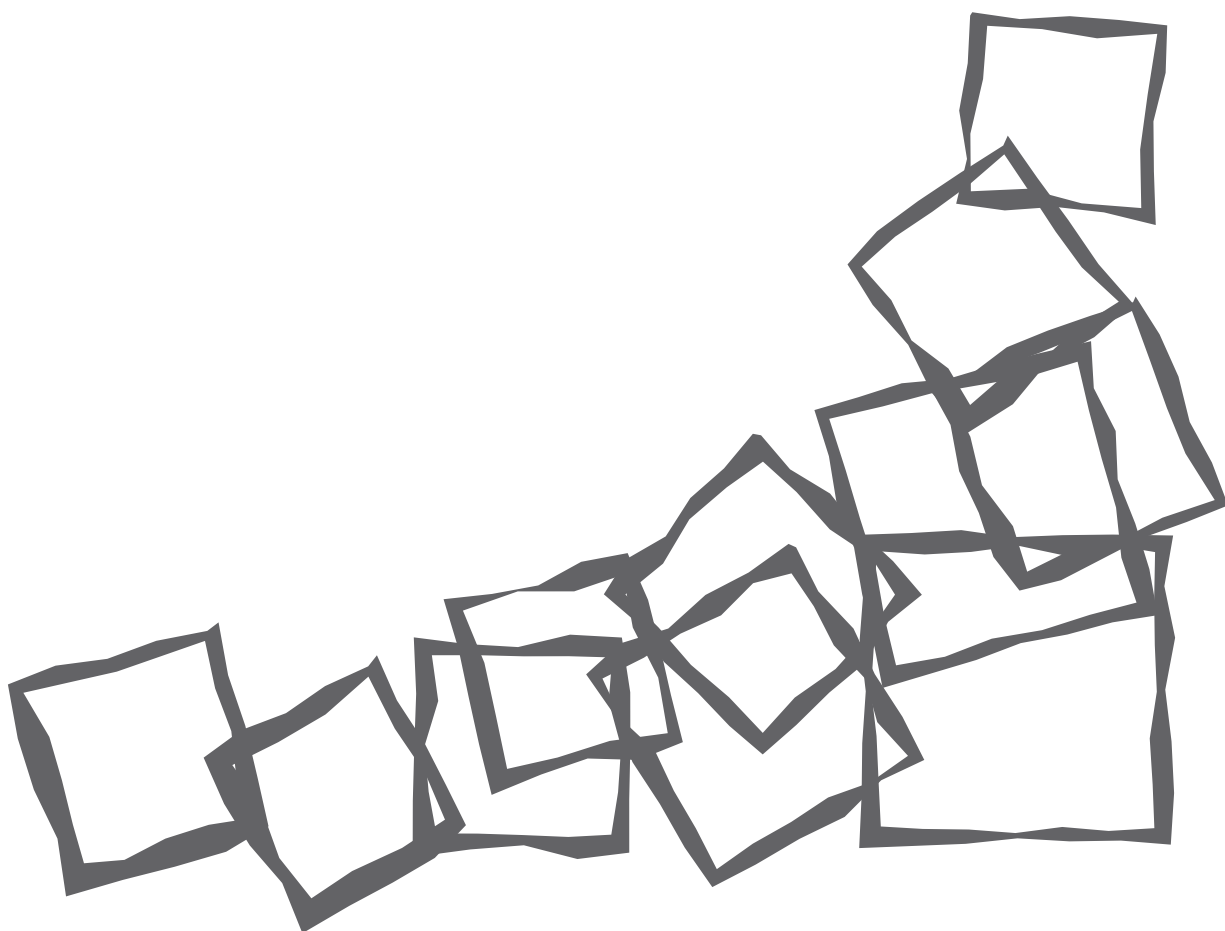


薄物プラスチック用破砕機

ルミネーターミニ

CSP182

取扱説明書






まえがき

このたびは、ビシャモンのルミネーターミニをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を熟読いただき、十分にご納得になった上でご使用ください。
なお、この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合は速やかに販売会社にご請求ください。

用語および記号の説明

この説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示をしています。
人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからシュレッダーを使用してください。

-  **危険** 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡および重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
-  **警告** 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡および重傷を負う可能性が想定される場合。
-  **注意** 取り扱いを誤った場合に、使用者が損害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される場合。

目次

目次	2
1. 使用目的	3
2. 安全上の注意	3
3 各部の名称	6
4 仕様・寸法	7
5 安全装置	7
6 設置について	8
7 使用方法	11
8 刃の清掃について	13
9 電気回路図	14
10 故障かなと思ったときは	14
11 定期点検	15
12 廃棄について	16
13 商品保証規定	16
14 アフターサービスについて	17

1. 使用目的

本機はスプールランナー・薄物プラスチック・ボトル容器・紙などの産業廃棄物の減容およびリサイクル、焼却の前工程としての破碎をするためのものです。

2. 安全上の注意

2-1 危険・警告・注意事項

本機をご使用していただく上で、人身事故などを予防するための重要な事柄が取扱説明書には記載されていますので、必ずよく読み理解してからご使用ください。

2-2 一般的な安全注意事項

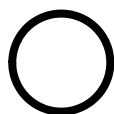
1. 取扱説明書をよく読み、よく理解した上でご使用ください。
2. 本機の操作は、使用方法を十分理解した人に限定してください。
3. 運転中に異音・異臭発生等、普段と異なる状態が発生した時には、ただちに使用を中止して、お買い上げいただいた販売会社に連絡して点検を受けてください。
4. 警告シールを取り外したり改変したりしないでください。
5. 本体を改造しないでください。

2-3 使用上の注意

絵表示の背後に描かれている図記号は次のような意味があります。



してはいけない
特定の行為



しなくてはならない
特定の行為



取り扱いの誤りによって発生
する可能性のある警告・注意

危険

機械の操作中は、ホッパーおよび排出口に手や頭を入れないでください。
※死亡および重傷の危険性があります。

警告

取扱説明書をよく読み、理解してから使用してください。

※重要な警告事項が説明されています。

警告・注意事項を守らない場合、重大な事故につながる可能性があります。

破碎中の破碎対象物には、絶対に触れないでください。

※けがをする可能性があります。

安全装置および本体の改造は絶対にしないでください。

※安全性が損なわれ重大な被害が発生します。

メンテナンスの際には、必ず電源を「OFF」にしてください。

※死亡または重傷のおそれがあります。

操作の際には、必ず保護メガネをかけてください。

※失明するおそれがあります。

スプレー缶等の圧力容器は、絶対に投入しないでください。

※爆発および火災の危険性があります。

機械の作動中はもちろん、停止中にも刃具には絶対に触れないでください。

※火傷および鋭利な刃物で手を切る危険性があります。

運転中にカーテンを開けないでください。

※破碎物が顔に当たり、けがをする危険性があります。

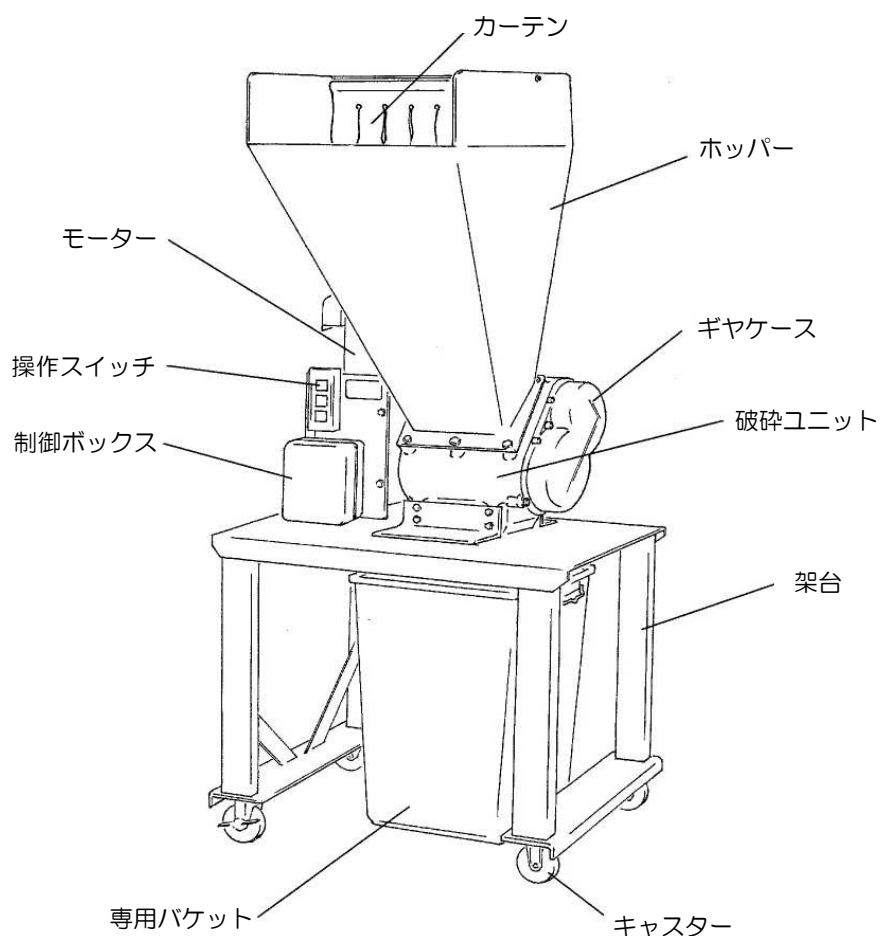
制御ボックス、操作ボックスを開けたときには、感電に注意してください。

※死亡または重傷のおそれがあります。

注意

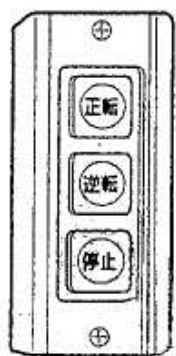
1. 破碎対象物【プラスチック類（スプールランナー、容器、成形品等）・紙類（雑誌、帳票、ダンボール）・発砲ポリエチレン・剪定枝】以外のものを投入しないでください。
2. 故障の原因になりますので、石・金属・コンクリート等を投入しないでください。
3. 緊急の場合には、直ちに機械を停止させてください。
4. コンベヤー等の投入機または、取り出し機を取り付ける場合には、停止ボタンをいつでも押せるように設備してください。
5. 本機の移動等にあたっては、取扱説明書内の「6. 設置について」に従って行ってください。
6. 本機の制御ボックスおよびモーターには、水や雨がかからないようにご注意ください。
7. 破碎対象物が引っかかり、取り除く場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
8. 刃部の清掃を行うときは、必ず電源を切り、保護手袋をつけてください。
9. バケットを満杯にしにしないでください。
10. 機械から離れるときは、必ず電源を切ってください。
11. 一度に大量の破碎物を投入しないでください。
12. 運転中は絶対に「逆転」ボタンを押さないでください。必ず停止させてから「逆転」ボタンを押すようにしてください。また、「逆転」ボタンは5秒以上押さないでください。
13. モーターがロックしたときは直ちに停止させ、1～2秒間逆転させてから再起動してください。何度もロックする場合は破碎対象物が機械の能力を超えていますので、処理を中止し、破碎対象物を取り除いてください。
14. サーマルリレーの設定値は変更しないでください。またサーマルを手動でリセットしないでください。モーターの焼き付きの原因になります。
15. 各部を開けて清掃した後は、ネジの締め付けの確認を行ってください。
16. 破碎ユニットの裏のスクレイパーを外したときは、ボルトで固定するときの接触面（スクレイパーとユニット側両方）をしっかりと清掃してください。
17. スクレイパーは鋭利なため、取り外すときは十分注意してください。

3 各部の名称



操作スイッチ

シュレッダーの正回転、逆回転、停止を行うスイッチです。



正転ボタン

「正転」ボタンを押すと刃が正回転します。（自己保持）

逆転ボタン

「逆転」ボタンを押すと刃が逆回転します。

停止ボタン

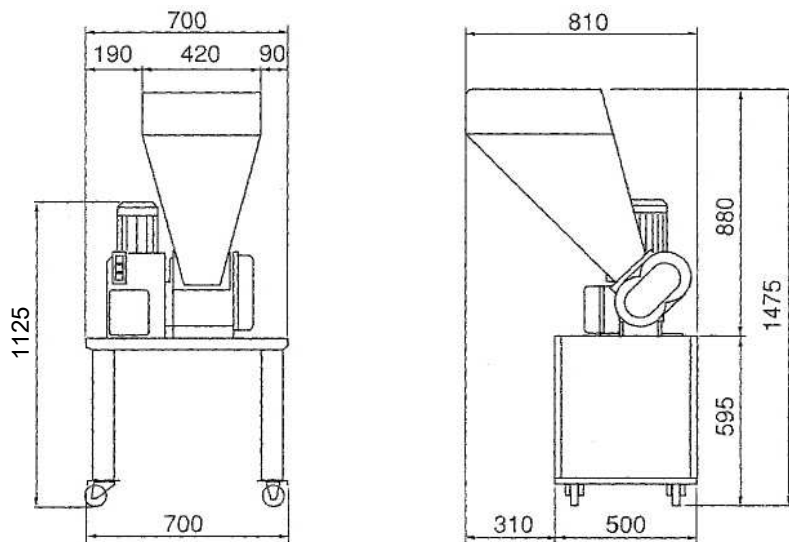
「停止」ボタンを押すと停止します。

4 仕様・寸法

本仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

仕様諸元	
破砕対象物	薄物プラスチック類（ランナー・容器・PPバンド等）
	紙類、剪定枝
破砕方式	2軸剪断方式（刃数6枚）
ホッパー	開口寸法 420mm×160mm
	容量 約50ℓ
電源	3相交流200V
運転操作	押ボタンスイッチ式
使用場所	室内

機種別仕様諸元					
型式	自重(kg)	モーター	全高(mm)	全幅(mm)	奥行(mm)
CSP182	130	連続定格4P 1.5kw	1475	700	810



5 安全装置

●サーマルリレー

制御ボックスの中にあります。過電流が流れると電気回路を遮断してモーターを保護します。

6 設置について

6-1 設置前準備

① 設置に必要な物

- ・ 一般工具
- ・ 電源コード（延長する場合）

6-2 設置方法

① 設置場所の選定

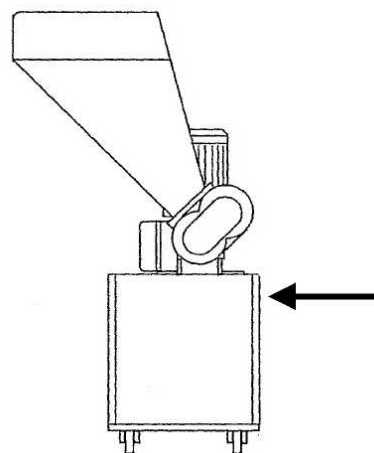
本体は屋内の水平な硬い床面に設置するようにしてください。

直射日光が当たらない場所に設置するようにしてください。

② 設置方法

移動車輪がついていますので、設置場所へ移動させてください。

設置後は、車輪をロックしてください。



フォークリフト差し込み方向および位置

⚠ 注意

- ・ フォークリフト等で移動する場合には、フォークで電源ケーブルを挟まないように注意してください。
- ・ 本機は重心位置が高いので、移動する時は転倒しないよう十分注意してください。

6-3 電気配線

- ① 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。

※1次電源は20Aの3相コンセントをご用意ください。

標準プラグ：東芝DH2823SE 3Pアース20A防水ゴムキャップ



機種	モーター容量	コンセント
CSP182	1.5kw	20A

※出荷時の電源コードは、下表のものが本体に結束されています。（線芯数 4本3m）

コードを延長される場合は10mまでとしてください。それ以上延長される場合は、電圧降下により機械本体の能力を十分発揮出来ないばかりか、機械の故障にもなりかねませんので、長さに見合ったコードを使用してください。

断面積	CSP182	1.25mm ²
-----	--------	---------------------

- ② 「正転」ボタンを押して破砕刃の回転方向を見てください。

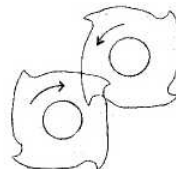
刃の回転方向が反対の場合は、R(赤)とT(黒)を入れ替えてください。

「正転」ボタンを押しても作動しない場合は①～③が考えられますので再度確認の上「正転」ボタンを押してください。

- ① 電源はきていますか？
- ② 制御ボックス内のサーマルリレーが切れていませんか？
- ③ 結線不良、断線はしていませんか？

刃の回転方向

正転時



⚠ 危険

・ホッパーの中に絶対に身を乗り出したり、手を入れたりしないでください。大けがをしたり、生命にかかわる事故になりますので十分気を付けてください。

6-4 試運転

1. 「正転」ボタンを押して、正転が自己保持することを確認してください。
2. 「停止」ボタンを押して、本体が停止することを確認してください。
3. 「逆転」ボタンを押して、カッターが逆転すること確認してください。
(逆転は自己保持しません)
4. 作動させたとき各部より異音・異臭がないかを再確認してください。

7 使用方法

7-1 運転前チェック

以下の項目について必ずチェックを行ってください。

点検箇所	点検項目	点検方法
本体	刃部の破損および異常な磨耗	目視
操作スイッチ	操作スイッチの破損	目視
ホッパー	異物が入っていないか	目視
モーター	回転させて異音がないか	聴取
破碎刃	回転させて異音がないか	聴取

7-2 破碎対象物投入

ホッパーより破碎対象物を投入してください。

警告

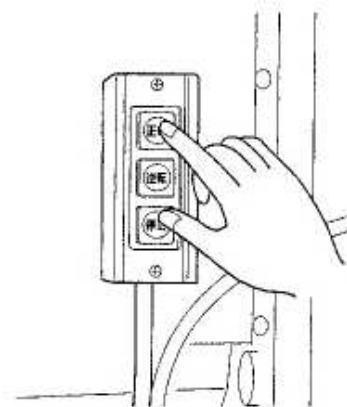
- ・スプレー缶等の圧力容器は絶対に投入しないでください。
- ・一度に大量の破碎対象物を投入しないでください。
- ・故障の原因になりますので、石・金属・コンクリート等を投入しないでください。

7-3 起動操作

操作ボックス「正転」ボタンを押して起動させてください。

警告

- ・機械作動中はホッパーおよびシュートには絶対に手や頭を入れないでください。
- ・破碎中の破碎対象物には絶対に触れないでください。
- ・運転中にカーテンを開けて中を見ないでください。
- ・操作の際には必ず保護メガネをしてください。

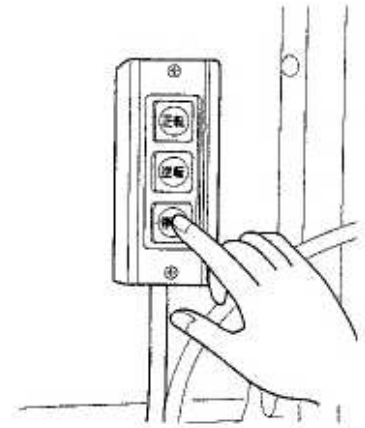


7-4 停止操作

処理が終了したら「停止」ボタンを押してください。

⚠ 注意

- ・機械から離れる時は、必ず電源を切ってください。
- ・破碎対象物を取り除く場合は、必ず電源を切ってください。

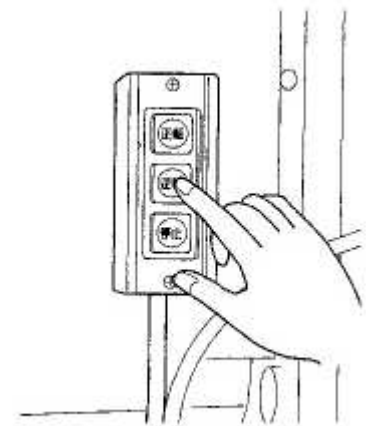


7-5 逆転操作

「逆転」ボタンを押すと逆転します。離せば止まります。

⚠ 注意

- ・運転中は絶対に逆転ボタンを押さないでください。必ず一旦停止させてから「逆転」ボタンを押すようにしてください。
- ・モーターがロックした時には直ちに停止させ、1～2秒間逆転させてから再起動させてください。
- ・何度もロックする場合は、破碎対象物が機械の能力を越えていますので、処理を停止して破碎対象物を取り除いてください。



8 刃の清掃について

破碎刃の間に破碎対象物が挟まると、機械本来の性能を発揮できないばかりか、故障の原因にもなりかねませんので、定期的に清掃を行ってください。

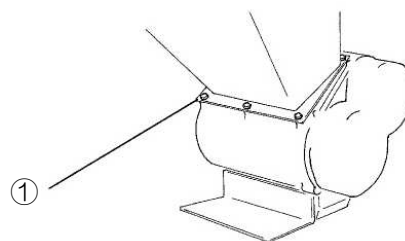
警告

- ・破碎刃には手を触れないでください。
- ・刃の清掃を行う時は必ず電源を切って、保護手袋をつけてください。

8-1 分解方法

●ホッパーの取り外し方●

- ・六角ボルト①を外してください。（6ヶ所）

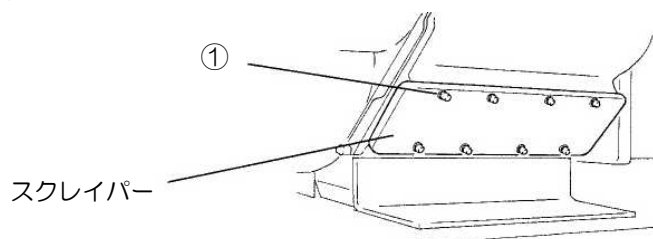


警告

- ・ボルトを外す際は、ホッパーをしっかり支えてください。落下してけがをするおそれがあります。

●スクレイパーの取り外し方●

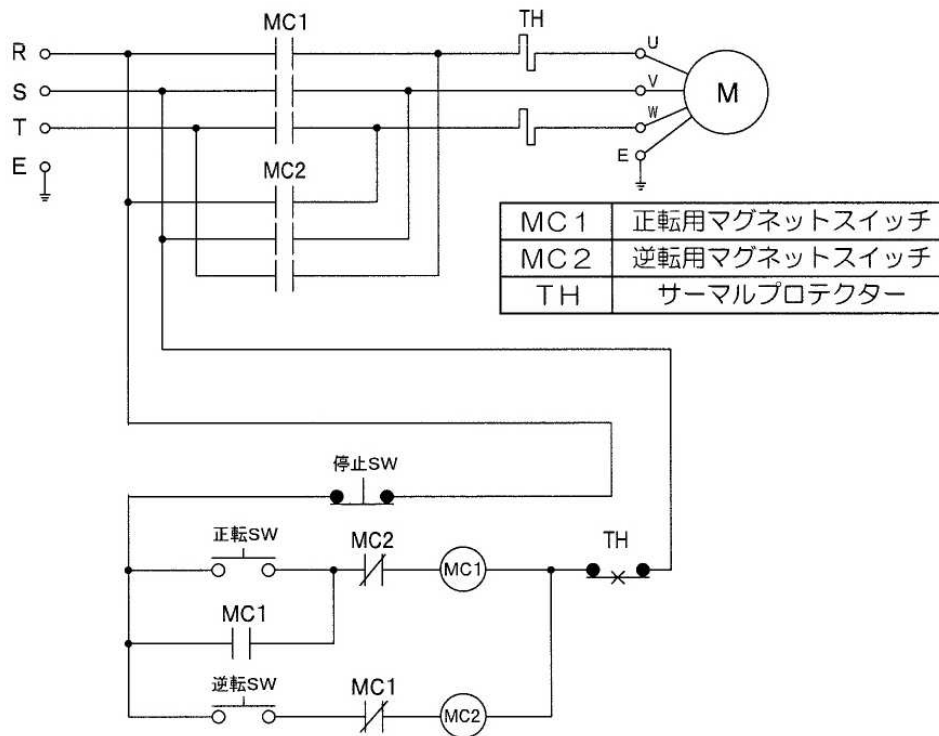
- ・破碎ユニット背面の六角穴付ボルト①を外してください。（8ヶ所）



警告

- ・スクレイパーの先端は鋭利ですので、取り外す際はご注意ください。
- ・必ず保護手袋を着用してください。
- ・組付けの際は、破碎ユニットとスクレイパーの接触面をしっかりと清掃してください。
- ・清掃後は各部のボルト類の締付けを確認してください。

9 電気回路図



10 故障かなと思ったときは

破砕機が作動しなかった場合は、以下の項目をチェックしてください。

- 電源はきていますか？
- サーマルリレーは切れていませんか？

上記項目をチェックしても作動しない場合は、速やかにお買い上げいただいた販売会社にご連絡してください。また、修理が終了するまでは本機の使用を中止してください。

1 1 定期点検

安全にご使用いただくため、確実に点検を行ってください。

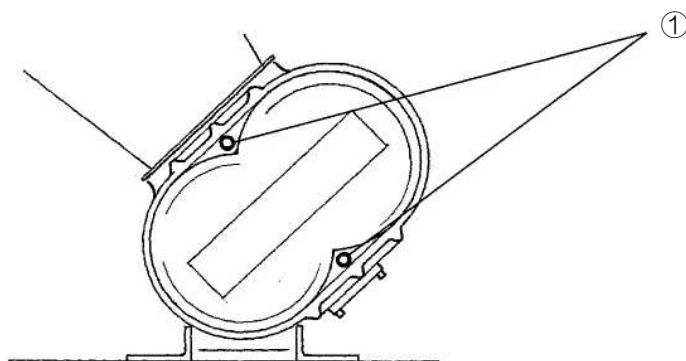
※点検を怠ると、重大な事故および機械の破損につながる危険性があります。

点検箇所	点検項目	点検要領	点検頻度
破碎ユニット	刃部の破損および異常な摩耗	目視	毎日
	ボルトの緩み	増し締め	1 ヶ月毎
	ギヤ	グリス塗布	1 ヶ月毎
制御ボックス	各電子機器	汚れ、破損を確認	1 ヶ月毎
	端子	緩み	毎週
	配線	断線等	毎週

*ギヤのグリス塗布は、ギヤケースを外し直接ギヤに塗布してください。

<ギヤケースの外し方>

六角穴付ボルト①を外してください。(2ヶ所)



1 2 廃棄について

本製品の廃棄については、鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油に分別してください。
特に作動油の処理方法は、法令で義務づけられています。法令に従い適正に処理を行ってください。
ご不明な点は販売会社にご相談の上処理してください。

1 3 商品保証規定

◆保証規定

取扱説明書および本機注意シール等の注意書きに従って、正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、弊社の責任において無償にて部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

商品保証期間：納入後 1年 以内

但し、二次的に発生する損失の補償、および次の場合に該当する故障は保証いたしかねます。

1. 使用上の誤操作、または保守点検、保管などの義務を怠ったために発生した故障および損傷。
2. 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
3. 消耗品が損傷し、取り替えを要する場合。
4. 地震・火災・風水害・その他の天災地変など、外的要因による故障および損傷。
5. 指定された純正部品を使用しなかったことに起因する場合。
6. 日本国外でご使用になる場合。
7. 保証請求手続きに不備がある場合。(例：型式・機体番号の連絡が無いなど)
8. 設置に原因がある故障および損傷。
9. ボルト等破砕対象物以外の物を破砕し、刃が破損してしまった場合。

本製品は屋外設置および防水仕様になっておりませんので、錆・腐食漏電等
や水による故障は保証しておりません。

◆保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げいただいた販売会社までご連絡ください。販売会社にて必要な手続きを致します。

なお、保証の要否は誠に勝手ながら弊社にて判断させていただきますので、ご了承ください。

14 アフターサービスについて

◆調子が悪い時

まずこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

◆それでも調子が悪い時

お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。

◆保証期間中の修理について

保証期間は納入後1年以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。

◆保証期間後の修理について

お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。

◆補修性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品は、最低保有期間（製造打切り後8年間）のみ保有しております。

（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。

お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。
型式・機体番号・納入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

MEMO



販売会社、又は、施工業者の方への**お願い**
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町四丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

■業務グループ TEL.0566-53-1126 FAX.0566-53-1844

■お客様相談室  0120-823-010